

第13回 ヨウ素学会シンポジウムプログラム

- ◆ 日 時 : 平成21年11月9日(火) 9:15~17:10
- ◆ 場 所 : 千葉大学けやき会館
- ◆ 主 催 : ヨウ素学会、千葉大学
- ◆ 共 催 : (社)日本化学会、日本ヨード工業会
- ◆ 協 賛 : (社)日本薬学会、(社)有機合成化学協会、日本ヨード懇話会、
(財)千葉県産業振興センター、千葉工業大学技術・情報センター

< I部~III部:講 演 > 1F 大ホール

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:15~9:20	挨拶	田中尚文 会長		
I部: 座長 (藤川 高志)					
①	9:20~10:05	招待講演	Polymorphic structures of iodine and their chemical reactions inside single-walled carbon nanotubes	Lunhui Guan	Chinese Academy of Sciences
②	10:05~10:20	一般講演	ヨウ素酸化還元反応における単層カーボンナノチューブ薄膜電極の分光電気化学特性	○伊藤努武・安日太郎・ 盧明霞・大場友則・ 藤森利彦・金子克美・ 加納博文	信州大・千葉大院理
II部: 座長 (加納 博文)					
③	10:20~10:35	一般講演	アミロース・ヨウ素包接体とその利用	○海宝龍夫・田口 充・ 三瓶春代・寺田喜信・ 高久三枝子・井上 修	関東天然瓦斯開発・ 江崎グリコ・ オーミケンシ
④	10:35~11:20	招待講演	水素化物系高リチウムイオン伝導体へのヨウ化物添加による性能向上	前川英己	東北大院工
III部: ポスター発表ショートスピーチ					
⑤	11:20~12:30	24件×2分:70分(交替時間含)			

< IV部:ポスター発表、併設展示 > 3F レセプションホール

*時 間 ; 展示 12:00~14:35.....発表と質疑(13:05~14:35)		
一般・ワーキンググループ	発表件数 49件	物理化学、有機反応理論、分析化学、触媒化学、分子生物学、資源、環境、エネルギー、エンジニアリング、プロセッシング、利用、応用、実用品の開発と製品紹介(医薬品、殺菌消毒剤等)、生物圏におけるヨウ素の働きとその循環機構 など
併設展示		ヨウ素製品等の展示、ヨウ素分析機器等の展示 (時間; 随時)

< V部~VII部:講 演 > 1F 大ホール

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	14:45~14:50	特別賞受賞式			
	14:50~14:55	学会賞授賞式			
V部: 座長 (石川 勉)					
⑥	14:55~15:25	受賞講演	ヨード卵の商品開発と機能性食品としての有用性に関する研究	○横山次郎・ 関本邦敏・石川 正	日本農産工業(株)
VI部: 座長 (荒井 孝義)					

⑦	15:25~15:40	一般講演	キラルアンモニウムヨウ素酸塩を触媒に用いる不斉 酸化的エーテル環化反応の開発	○UYANIK Muhammet・ 岡本寛晃・安井猛・ 石原一彰	名大院工
⑧	15:40~15:55	一般講演	四ヨウ化チタンにより促進されるアルコキシ ケトン誘導体の還元的エノラート生成とその反応	○八谷 巖・稲垣敬夫・ 清水 真	三重大院工
⑨	15:55~16:10	一般講演	単体ヨウ素を触媒とする1,3-ジケトンから 1,2-ジケトンへの酸化-転位ダンデム反応	○多田教浩・庄村元希・ 三浦 剛・伊藤謙近	岐阜薬大
⑩	16:10~16:25	一般講演	無溶媒条件下でヨウ素を用いた チオスルホン酸エステルの合成	○谷藤尚貴・山本耕平・ 寺本絵里子	米子高専物質工
VII部: 座長 (落合 正仁)					
⑪	16:25~17:10	招待講演	電解酸化とマイクロリアクターを利用する 芳香族ヨウ素化合物の製造プロセス	吉田潤一	京大院工

※ 各講演時間は、質疑応答の時間5分を含みます。

ポスター発表プログラム

会場：千葉大学けやき会館(3F レプションホール)ー開場 12 時 00 分 発表と質疑 13 時 05 分~14 時 35 分

No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
01	キラルヨウ化スズ触媒を用いた不斉マンニッヒ型反 応及び関連反応	○柳澤 章・泉閣督人・ 串原直行・及川優・吉田和弘	千葉大院理
02	IF ₅ を用いる芳香族化合物の新規ペルフルオロアル キル化反応の開発	○田原竜平・福原忠仁・原正 治	北大工学研究科
03	MT-スルフォンのトリフルオロメチルアニオン等価 体としての利用	○今川陽介・吉川祐平・福原 忠仁・原正治	北大総合化学院
04	SPE 電解による陽極ヨードフルオリネーションを利用 した含フッ素ビルディングブロックの合成	○石黒豊・栗林俊輔・稲木信 介・淵上寿雄	東工大院総理工
05	4-ヨードテトラヒドロピラン環含有ポリマーの合 成	○武井直子・稲木信介・淵上 寿雄	東工大院総理工
06	リサイクル可能な超原子価ヨードベンゼンを用いた 電解フッ素化反応	○澤村享広・稲木信介・淵上 寿雄	東工大院総理工
07	高活性ヨードシルベンゼンによる芳香族化合物のパ ラ位選択的 direct フッ素化反応	○齊藤基道・宮本和範・落合 正仁	徳島大院薬
08	超原子価ヨウ素を用いるケトンの簡便フッ素化反応	○北村二雄・栗木智史・田澤 由衣	佐賀大工系
09	アルコールからアルデヒドへのリサイクル型酸化反 応	土肥寿文・○福島圭一郎・上 田中徹・鷺見尚彦・北泰行	立命館大薬
10	Ni(0)触媒による α -ヨード- β -シアノカルボニル化合 物の合成とその機能	○渡邊陽太・星野勝義・荒井 孝義	千葉大理
11	アミド類の N-ヨード化を活用する C ₆₀ の選択的アザ フレロイド合成	○長町俊希・南方聖司	阪大院工
12	TEMPO およびヨードアレーンを触媒とする第 1 級	○矢倉隆之・大園綾香・齋藤	富山大院薬

	アルコール類のカルボン酸への直接酸化反応	健太郎・牛文起	
13	ジヒドロキノリン誘導体合成におけるヨウ化水素生成法の影響	松本祥治・○森 隆浩・赤染元浩	千葉大院工
14	DIH を用いたアルコール類の環化反応によるクロマン誘導体の合成反応	○古山修佑・森山克彦・東郷秀雄	千葉大院理
15	単体ヨウ素および DIH とアンモニア水、過酸化水素水を用いた第 1 級アルコールのアミドへのワンポット変換反応	○大村亮祐・森山克彦・東郷秀雄	千葉大院理
16	ヨウ素を用いたチオスルホン酸エステル合成と応用	○山本耕平・寺本絵里子・谷藤尚貴	米子高専専攻科物質工
17	単体ヨウ素を利用した光酸素酸化によるフェナシルヨーグライド類の合成法の開発	○信田智哉・多田教浩・三浦剛・伊藤彰近	岐阜薬大
18	2,4-ジヨードキノリンの合成	○三田村健範・小川昭弥	阪府大院工
19	ヨウ素を触媒としたニトリルとエステルを用いたアミドの合成	笠嶋義夫・友野一樹・三野孝・坂本昌巳・○藤田力	千葉工大工・千葉大院工
20	ヨウ素を触媒としたテルペン系アルコールと α -ビニルベンジルアルコールの反応	笠嶋義夫・水島春菜・富崎啓太・三野孝・坂本昌巳・○藤田力	千葉工大工・千葉大院工
21	ヨウ素を触媒としたテルペン系 3-ヒドロキシ酸のエステル化	笠嶋義夫・○富崎啓太・水島春菜・三野孝・坂本昌巳・藤田力	千葉工大工・千葉大院工
22	ヨウ素を利用したピロリジン環形成の検討	○近藤友香里・熊本卓哉・加川夏子・鈴木紀行・石川勉	千葉大院薬
23	超原子価ヨウ素試薬によるベンジル位酸化反応の検討	○黒澤絢子・熊本卓哉・加川夏子・鈴木紀行・石川勉	千葉大院薬
24	超原子価ヨウ素試薬を用いたインドール 2, 3 位のマスキング法の開発とその応用	○井上峻・岡田直樹・三澤香織・北島満里子・高山廣光	千葉大院薬
25	超分子有機伝導体(DIP) ₃ (PF ₆) _x (solvent) _y の物性とリサイクル性	○村山遼式・今久保達郎	長岡技科大
26	キシログルカン-ヨウ素錯体の物理化学的特性に及ぼす側鎖効果	○加藤晴久・内田勝美・土屋好司・矢島博文・湯口宜明	東理大理・大阪電通大工
27	キトサン-PEG グラフト共重合体とヨウ素との複合体形成およびその物理化学的特性	○上田新太郎・内田勝美・土屋好司・矢島博文	東理大院総化研
28	ヨウ素・セルロース錯体の炭素化と細孔特性	○神宮司健・宮嶋尚哉・幸脇悠人・阪根英人・棚池修	山梨大院医工・産総研
29	ヨウ素を利用したポリマーへの金属イオン注入 ～拡散空間・反応場としての高分子	○川口昭夫	京大原子炉
30	高分子-ヨウ素錯体のフィルム中での熱変化	○水越正憲・佐藤勇介・長野	千葉大学融合科学

		那岐・一國信之・高原茂	
31	気相及び I-PVA フィルム中ポリヨウ素の励起エネルギーと遷移モーメントに関する理論的研究	今井章裕・小鷲聡美・○藪下聡	慶大院理工
32	I-PVA フィルムの局所構造解析	○黄圭鏞・大石公美子・高橋慧・三木達郎・小西健久・板谷利昭・磯崎孝徳・藤川高志	千葉大院融合・クラレ
33	XAFS と MD による水溶液中モノハロゲン化物イオン-シクロデキストリン包接反応モデルの検討	○王悦・金子拓真・宮川慶大・小西健久・藤川高志	千葉大融合
34	Charge Transfer Interaction between SWCNH and Iodine Molecules	○Fitri Khoerunnisa・藤森利彦・伊藤努武・加納博文・大場友則・湯田坂雅子・飯島澄男・金子克美	千葉大院理・信州大カーボン研究所・産総研・名城大
35	液相分子吸着による単層カーボンナノチューブの電子構造制御	○盧明霞・大場友則・加納博文・畠賢治・湯村守雄・飯島澄男・小松弘人・佐久間昭・金子克美	千葉大院理・産総研・名城大・合資産株・信州大カーボン研
36	ヨウ素を含有する生物活性天然物のスクリーニング	○下田千尋・當銘一文・石橋正己	千葉大院薬
37	ジアシルグリセロールキナーゼによる甲状腺ホルモン生合成制御機構	○佐藤麻由・坂根郁夫	千葉大院理
38	海洋性ケイ藻 <i>Phaeodactylum tricornutum</i> 由来ハライドイオンメチルトランスフェラーゼの単離解析	○戸田 弘・伊藤伸哉	富県大工
39	ヨウ化物イオンの逆相高速液体クロマトグラフィー分析に用いるメタノール系移動相の定量性に対する評価	○宮下正弘・小畑俊男	星薬大・奥羽大薬
40	放射性ヨウ素ガスの吸着装置	○茂木道教・泉雄一・池堂和仁	(株)日環研・中部電力(株)
41	ヨウ化物イオンの脳内からの排出を非侵襲的に測定するためのプローブの開発	○岡村敏充・菊池達矢・永津弘太郎・岡田真希・脇坂秀克	放医研
42	食品からのヨウ素摂取量と尿中排泄量との関係	○浦川由美子・横山次郎・塚田信	鎌女大家・農産工
43	ヨウ素酸化細菌 Q-1 株より精製したヨウ素酸化酵素の反応速度論的解析	○鈴木美緒・大澤詩晶・田中寛・天知誠吾	千葉大院園芸
44	<i>Pseudomonas</i> sp. SCT 株のヨウ素酸呼吸メカニズムの詳細	○堀内綾香・田中寛・天知誠吾	千葉大園芸
45	化学形態および $^{129}\text{I}/^{127}\text{I}$ に基づく珪藻質-珪質泥岩中のヨウ素の移行挙動解明	○嶋本洋子・高橋嘉夫・天野由記・松崎浩之・村松康行・岩月輝希	広島大学・日本原子力研究開発機構・東京大学・学習院大学
46	日本海ガスハイドレート産出地域における海底堆積	○安齋博哉・村松康行・関谷	学習院大学理・東京

	物中のヨウ素 (^{127}I , ^{129}I)、臭素及び微量元素の深度分布	朋子・松本良・戸丸仁・松崎浩之	大学理・東京大学 MALT
47	堆積岩及び堆積物中のヨウ素、臭素、塩素の分析	○関谷朋子・村松康行・安齋博哉・松本良・戸丸仁	学習院大理・東京大学理
48	土壌中のヨウ素濃度分析と土壌への吸着メカニズムについて	○伊藤絵理佳・村松康行・松崎浩之・嶋本洋子・高橋嘉夫	学習院大学・東京大学 MALT・広島大院理
49	東京における大気降下物中のヨウ素の経年変化	○内田悠香・遠山知亜紀・村松康行・五十嵐康人	学習院大学・気象研究所

17:30～19:00	懇親会 (けやき会館 3Fレセプションホール)
-------------	-------------------------